

**2019年5月24日
個人投資家説明会
株式会社アプリックス（3727）**

株式会社アプリックス
代表取締役社長 根本 忍

はじめに

アプリックスは、
モノをつなげるIoTソリューションを提供しています

証券コードは

3 7 2 7

みんな

つながろう

会社名

株式会社アプリックス
[英文表記：Aplix Corporation]

本社所在地

〒160-0051
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

設立年月日

1986年2月22日

資本金

2,221百万円 [2018年12月末現在]

売上高

336百万円（連結） [2018年12月期]

従業員数

33名（連結） [2018年12月末現在]

マネジメント体制（2019年4月30日現在）

代表取締役社長	根本 忍
代表取締役会長	長橋 賢吾
取締役	倉林 聡子
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦
オブザーバー	根木 勝彦
オブザーバー	石黒 邦宏
オブザーバー	曾根 卓朗

事業内容

テクノロジー事業

グループ会社

株式会社BEAMO

目次

- 01 アプリックスのこれまでの歩みと強み
- 02 今後の成長戦略
- 03 主要トピックス
- 04 おわりに

1990年代（中期） メディアのインフラ CDオーサリングツール

WinCDR 6.0
Premium Package

CDWriter



大容量のデータをCD-ROMに書き込むことができる画期的な技術として注目される

1990年代（後期） ネットワークのインフラ 組み込みシステム向けWebブラウザ



インターネット対応カーナビゲーションシステム、
家庭用ゲームのインターネット対応等

2000年代 制御のインフラ 組み込み向けシステム向けJavaプラットフォーム



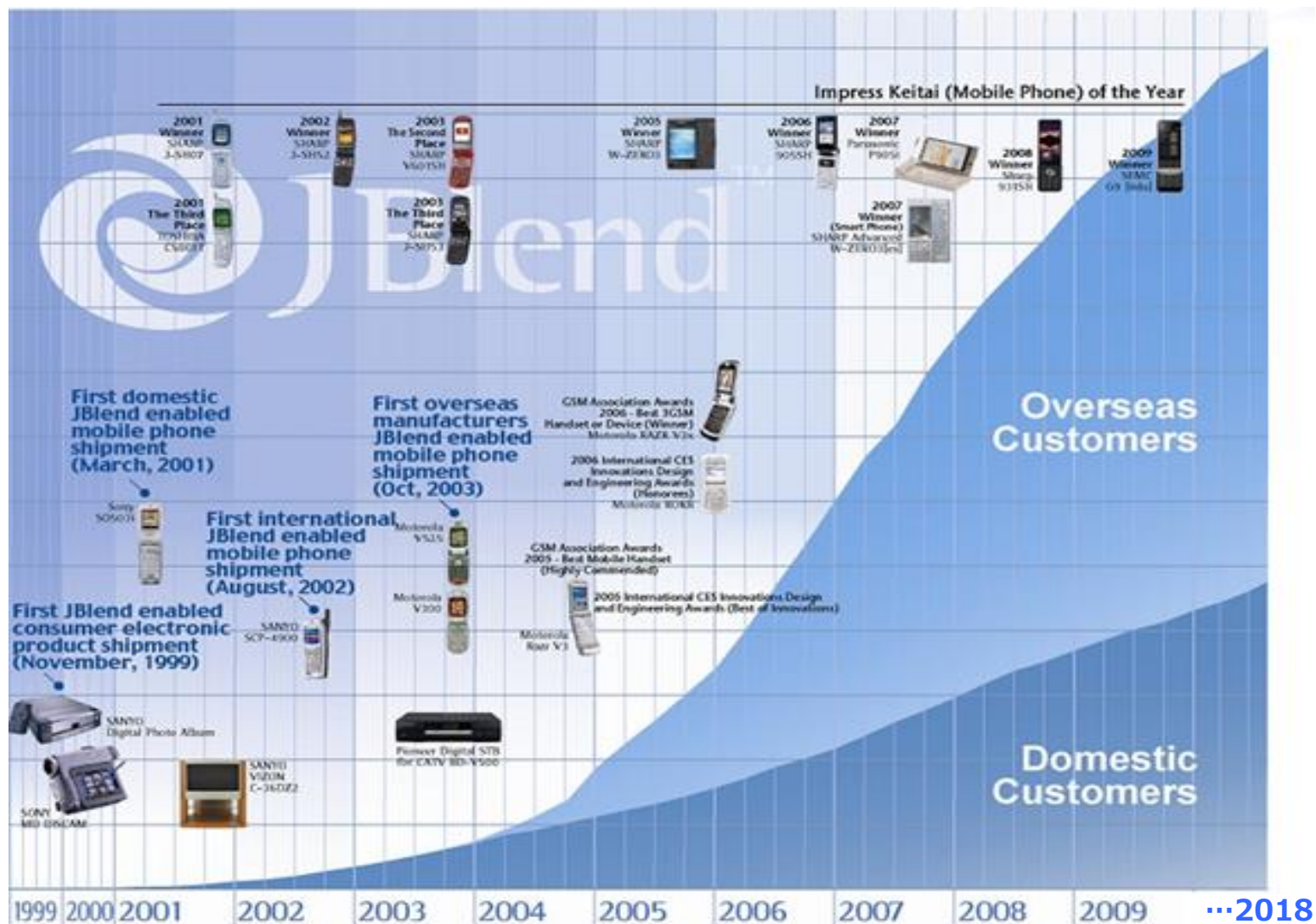
当社Javaプラットフォーム「JBlend」は多数の大手携帯電話メーカーに採用され、株式上場の直接の原動力に
全世界で9億台（2018年現在）を超える携帯電話に搭載

2010年代 IoT・M2Mのインフラ IoTトータルソリューション



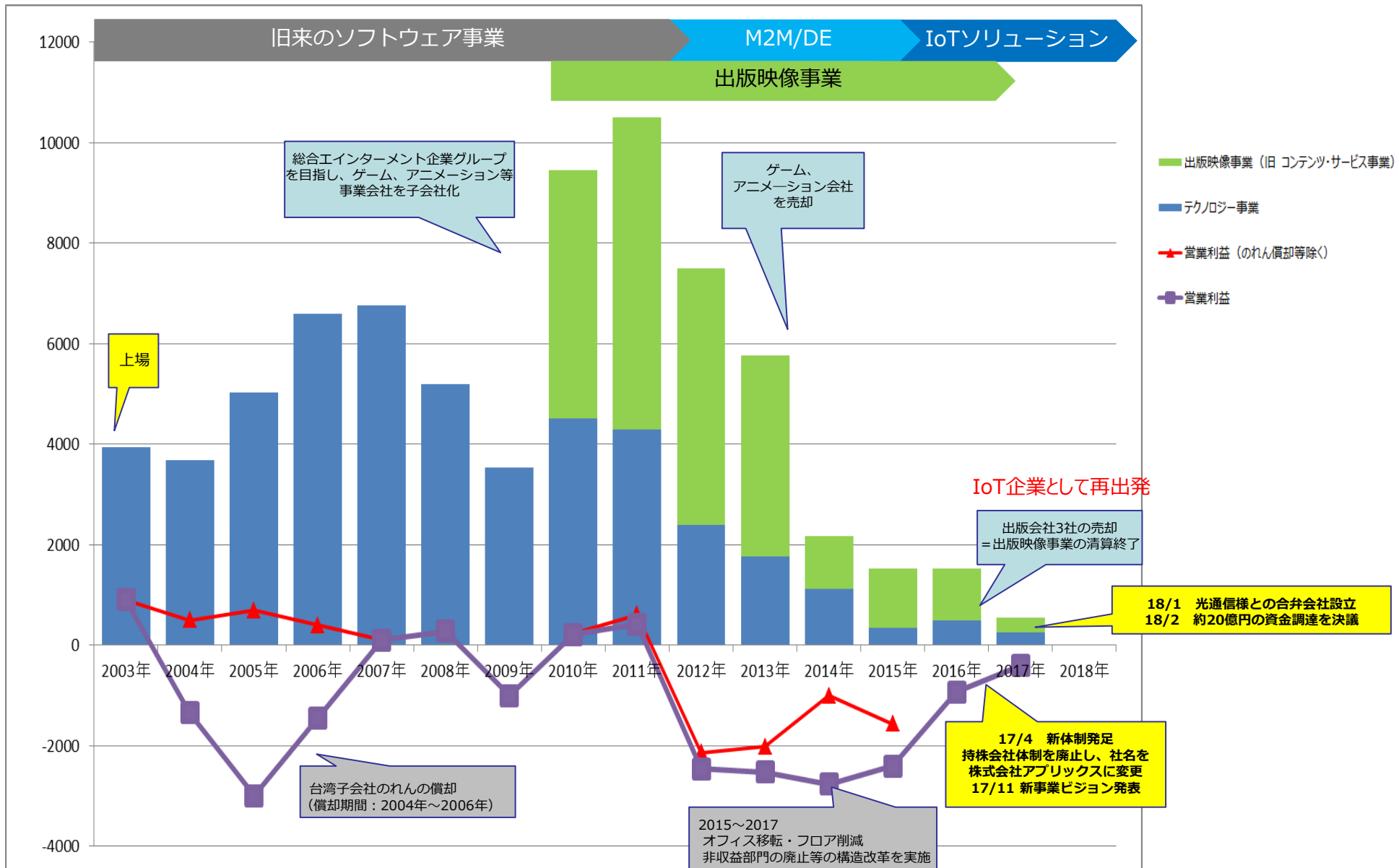
ハードウェアの設計開発・製造からアプリケーション・
クラウドサービス、運用・保守までワンストップなIoT
トータルソリューションの提供

これまでの実績をもとにIoT/CPS・AI・Robot・Big Data時代の新しいインフラの構築・開発・運用へ



現在は、当社のコア・コンピタンスである組み込みソフトウェア技術と組み込みハードウェア技術を活かしたソリューション・サービスの開発・提供に注力

会社沿革③業績の推移



アプリックスの3つの強み

① IoT開発に必要な組み込み技術力

② 大規模IoTシステム開発

③ 海外でのIoTソリューション実績

IoT (Internet of Things) は、モノのソフトウェア化 (組み込み)

アプリックスは、カーナビ、携帯、家電などの分野における30年以上の取り組みを通じて蓄積した、ハードウェアの知識を活かしたアプリケーション、プラットフォーム開発の実績・ノウハウを保持しております。

<ハードウェア>



中国等で安価に調達・生産

<ファームウェア>



ハードを制御するソフト
当社独自開発

<アプリケーション>



UI・UX設計から
アプリフレームワークまで
設計

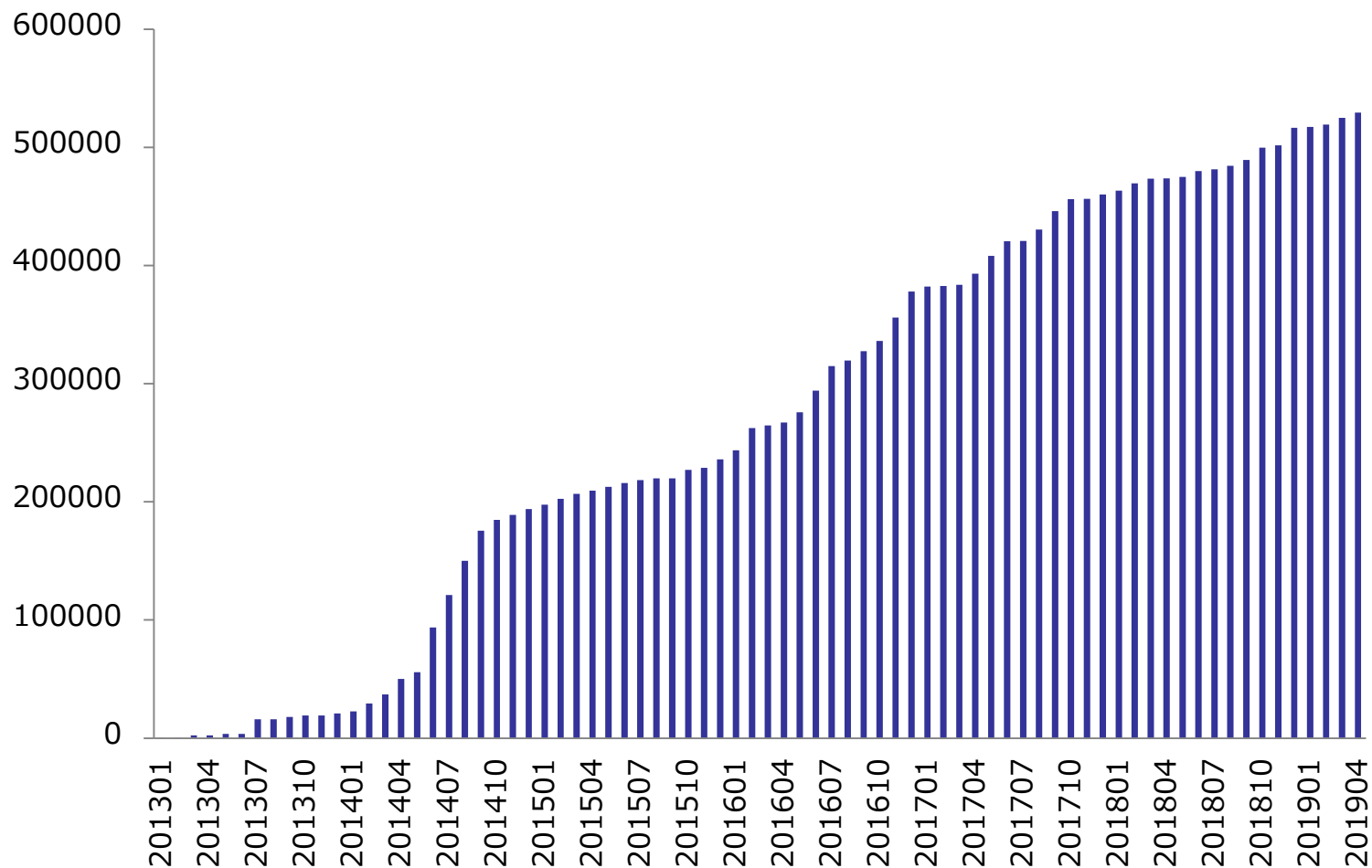
<クラウド>



大規模IoTサービスの運営

■モジュール出荷実績

2018年11月に累計出荷台数50万台突破



出所：会社資料（JMシリーズ、MyBeaconシリーズ、その他を合計）

■ 「MyBeacon®シリーズ」

「MyBeacon®シリーズ」とは、Bluetooth® Low Energyに対応したアプリックスのBluetooth® Smart製品であり、Beaconに対応したiOSデバイス向けにデータを発信し、iBeaconに対応したiOSデバイスを使って発信するデータを書き換えることが可能です。

置くだけ・貼るだけで手軽にBeaconを使ったサービスが開始可能であり、飲食業界、アパレル・ファッション業界、観光業界、運輸業界、レジャー・エンタメ業界などでのO2Oや位置情報、マーケティング、施設・展示案内、行動把握・分析などの幅広いサービスで実用化が進んでいるソリューションです。

< 「MyBeacon®シリーズ」ラインアップ >

汎用型



近接域特化型



防水防塵型



ペンダント型



USBスティック型



アプリックス通販サイト (<https://mybeacon-store.stores.jp/>) で販売中。

大規模プラットフォーム運用実績（ネスレ日本株式会社様）：

累計出荷台数30万台以上、アクティブユーザ10万を超えるネスレ社の「バリスタ i[アイ]」のIoTプラットフォームをアプリックスが一括して開発・運用しています。

<主な機能>



アプリでコーヒーの濃さ・泡立ちを調整



飲めば飲むほどポイントがたまる



家族や友達とつながる

ネスカフェゴールドブレンド バリスタ i[アイ]



コーヒーメーカー×アプリックスのIoT が可能にすること

ブランドとユーザーの結びつきを向上



コーヒーメーカーがBluetooth®を通じてユーザーの専用アプリとつながる事で、ユーザーにとって魅力的なコンテンツを数多く提供

- ✓ オリジナルレシピの登録機能
- ✓ SNS機能の提供
- ✓ コーヒーを淹れる度にプレイ出来るゲーム
- ✓ それにより付与されるポイント
- ✓ ポイントを貯めて得られるインセンティブなど。

ユーザーはコーヒーを淹れる事自体が楽しくなり、コーヒーメーカーへの愛着も増進。

ブランドとユーザーの結び付きがより強固なものに

コーヒーメーカー×アプリックスのIoT が可能にすること

「売り切り型」から「継続収入型」へのシフトをさらに促進



「消耗品の直販率」の増加により「利益率を向上」

そこに加えてこの度、機器のIoT化を実現した事により、**更なる付加価値・新しい体験**をユーザーに提供。
機器への愛着を強めさせ、「**定期購入契約継続**」の促進に成功しています

また、IoT化によって、**機器から取得されたデータを分析**する事により
正確な情報を元に、次々とサービスの質を向上させる事が出来るのです

■システム開発支援

(ネスレ日本様：新・宅配サービス「MACHI ECO（マチエコ）便」)

ネスレ日本株式会社様の新・宅配サービス「MACHI ECO（マチエコ）便」のシステム開発を支援しました。



「MACHI ECO便」ロゴ

アプリックスは「MACHI ECO便」において、以下のような開発支援・保守を担当しています。

■専用のWebシステム

メール送信、ネスレ公式オンラインショップとの連携、宅配管理など。

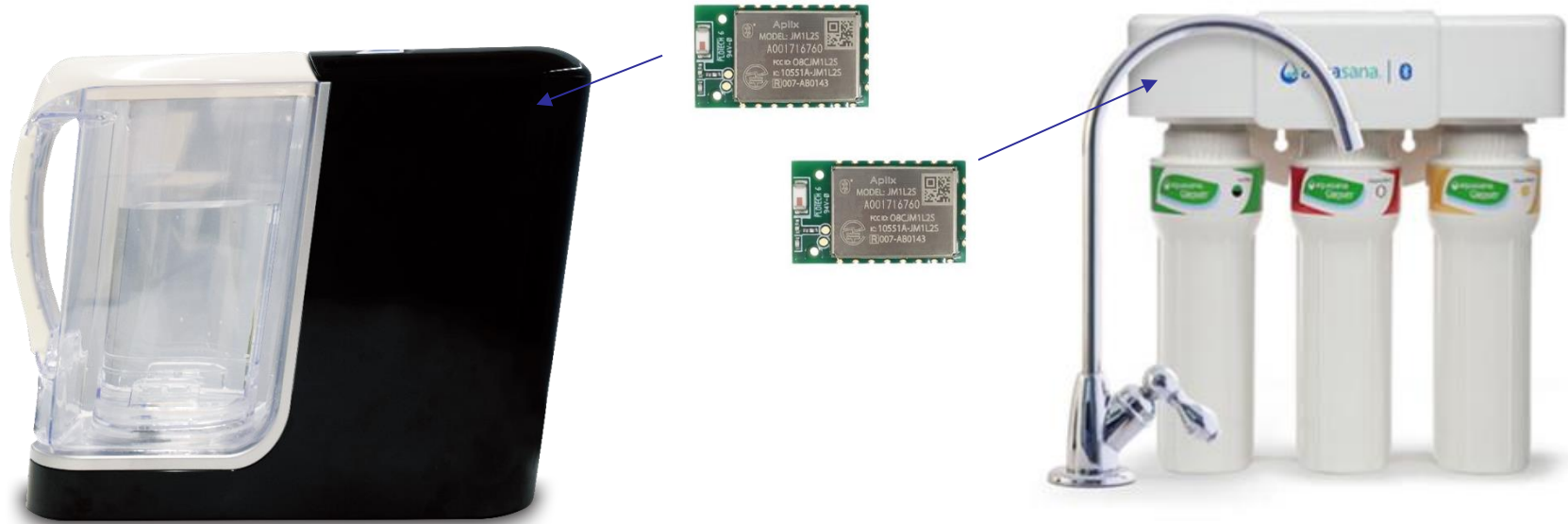
■専用の宅配ロッカーのシステム

「MACHI ECO便」システムとの連携、QRコードの読み取り、商品の入出庫管理、盗難防止など。

「MACHI ECO便」Webサイト：<https://machieco.jp/>

アプリックスでは2000年代後期より米国を始めとした海外での営業・マーケティング活動を続けており、スマホを活用した浄水器フィルター交換の仕組み（Aquasana, Inc.）、Amazon AlexaやGoogleアシスタントを使った空気清浄機（Guardian Technologies LLC）など海外のクライアントと先端的な実績があります

■ IoT 搭載浄水システム①



Aquasana, Inc.

アプリックスのBluetooth Low Energyモジュールが
米国大手浄水器メーカー Aquasana, Inc.に採用された
浄水システム

■ IoT 搭載浄水システム②



フローメータータイプ

アプリックスの浄水器用IoTソリューションが
世界最大手のキッチンシンクメーカーFrankeに採用

既存製品に後付け可能なため、
あらゆる浄水器をIoT化する事が可能

浄水器 × アプリックスのIoTが可能にすること

専用アプリで利用状況を把握



使用開始してからの浄水量、経過日数を記録してアプリ上に表示。フィルタの交換時期を迎えると自動で通知

ストレスフリーなフィルタ交換



フィルタ交換の通知をタップするだけで、アプリ内からフィルタの通販サイトへ直接遷移が可能

IoT 搭載空気清浄機

Guardian Technologies社

Bluetooth Low Energy /Wi-Fi両対応。
専用アプリを通じた遠隔操作やUIの改善も実現

Amazon Alexa、Google Home対応



Amazon Alexaの事例



※「Wi-Fi」は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

目次

- 01 アプリックスのこれまでの歩みと強み
- 02 今後の成長戦略
- 03 主要トピックス
- 04 おわりに

unconnectedな
モノ・ひと・サービス・企業・市場を
相互につなぐ「コネクタ」

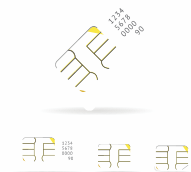
“CONNECTING THE UNCONNECTED”



いままで



+



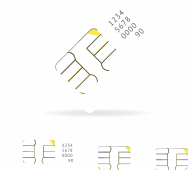
SIMカード+通信サービス

IoTデバイスとSIMカード及び通信サービスを組み合わせてセットで提供可能に。IoTの現場のニーズに即した独自の通信サービス等も企画可能。ストック型収益モデルの追加。

+ MVNO



+



+



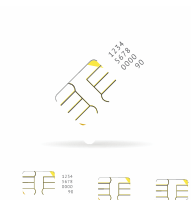
O2Oプラットフォーム

情報ハブとしてスマホを押しさえ、②に加えて広告収益モデルやMAに向かう。法人や自治体等向けに端末自体も提供可能。

+ MVNO + O2O



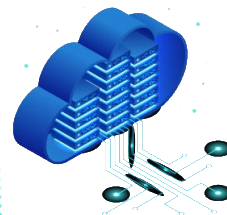
+



+



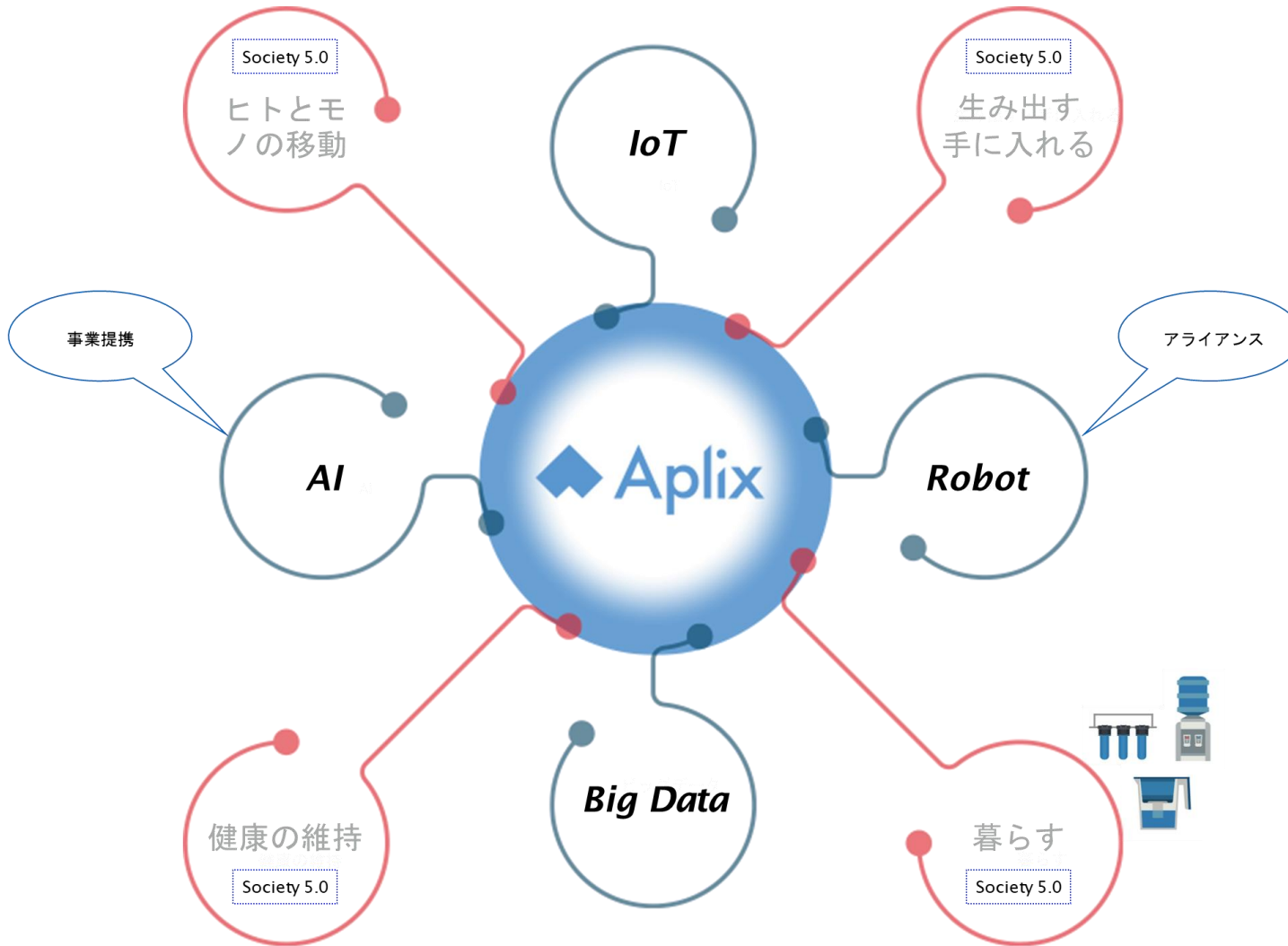
+



Cloudプラットフォーム・データセンター

クラウド基盤とフルマネージドサービスを提供し、本格的にストック型収益モデルへ。安心信頼の国内データセンター事業者と提携。ワンストップソリューションの提供へ。

+ MVNO + O2O
+ Managed Cloud



※ Society 5.0 : 内閣府第五期科学技術基本計画

社会の公器として、
技術的な提案及び挑戦の継続を素に、
顧客企業における問題の解決に寄与し
その企業価値の向上のお手伝いをするとともに、
自社の技術を活かして
新たな剰余価値の創出と社会資本の整備を目指し、
安全・安心・快適で
持続的な社会の実現に貢献する。

現在のIoTソリューション事業を発展させ、
DX(デジタル・トランスフォーメーション)事業
PF(プラットフォーム)事業
のふたつの方向性で、
業態及び業容の拡大を目指す。

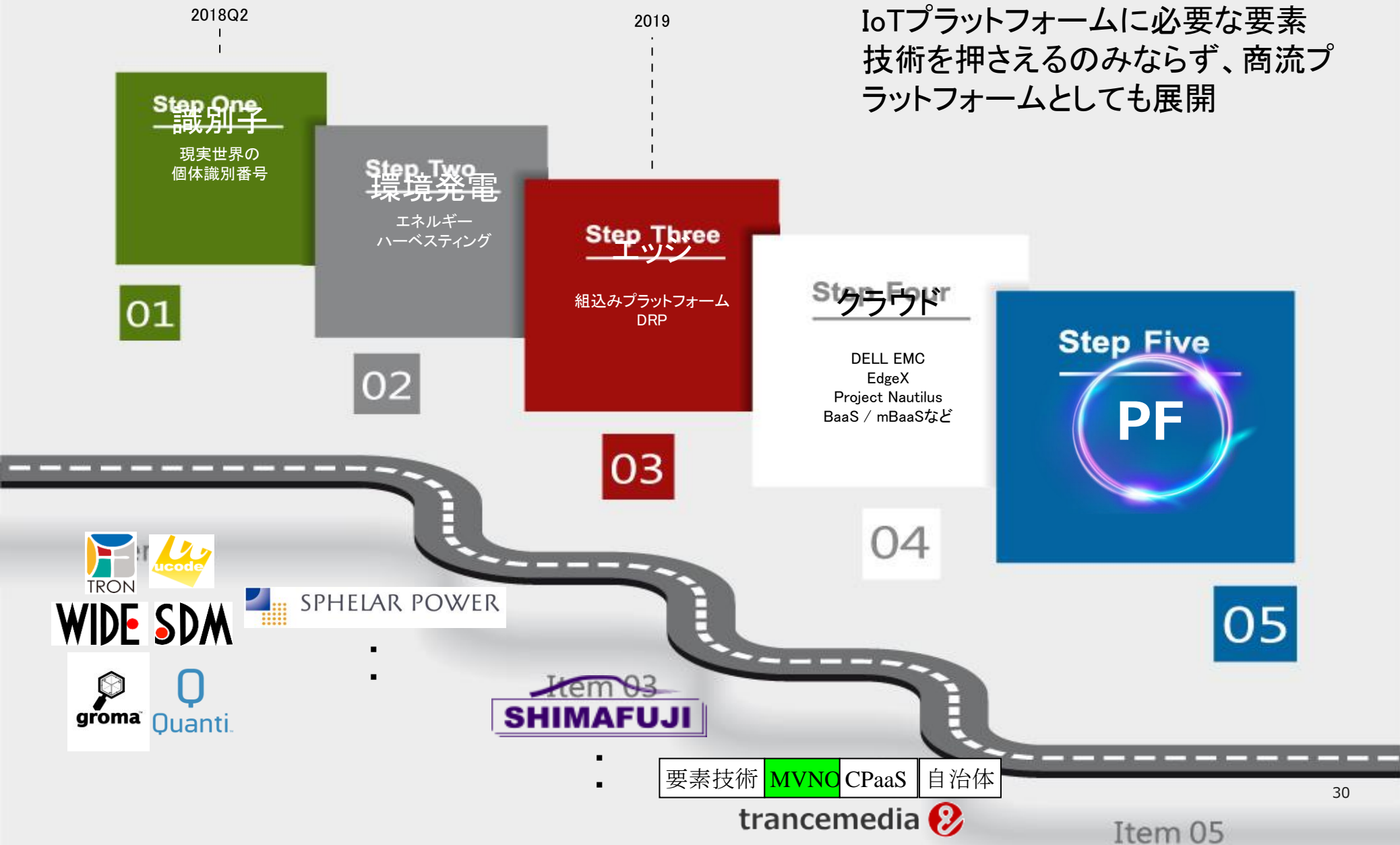
国家規模で進むデジタル・トランスフォーメーションを
支援し促進すると共に、特に経済産業省が
『DX推進システムガイドライン』等で指摘する
「2025年の崖」＝年間最大12兆円の経済損失が生じる可能性を
乗り越えるべく、ネスレをはじめとした顧客に対して、
新たな関係性を構築し対応策等の提供を加速していく。

受託開発(ソリューション事業)
他社開発支援
外部サービス連携

従前のHARPS事業等、及び共同研究開発などアライアンス
パートナー企業各社との動き及び関係性を発展させ、
B2B(Business to Business)及び
C2B(Customer to Business / Consumer to Business)の
ふたつの分野で事業を拡大を目指す。

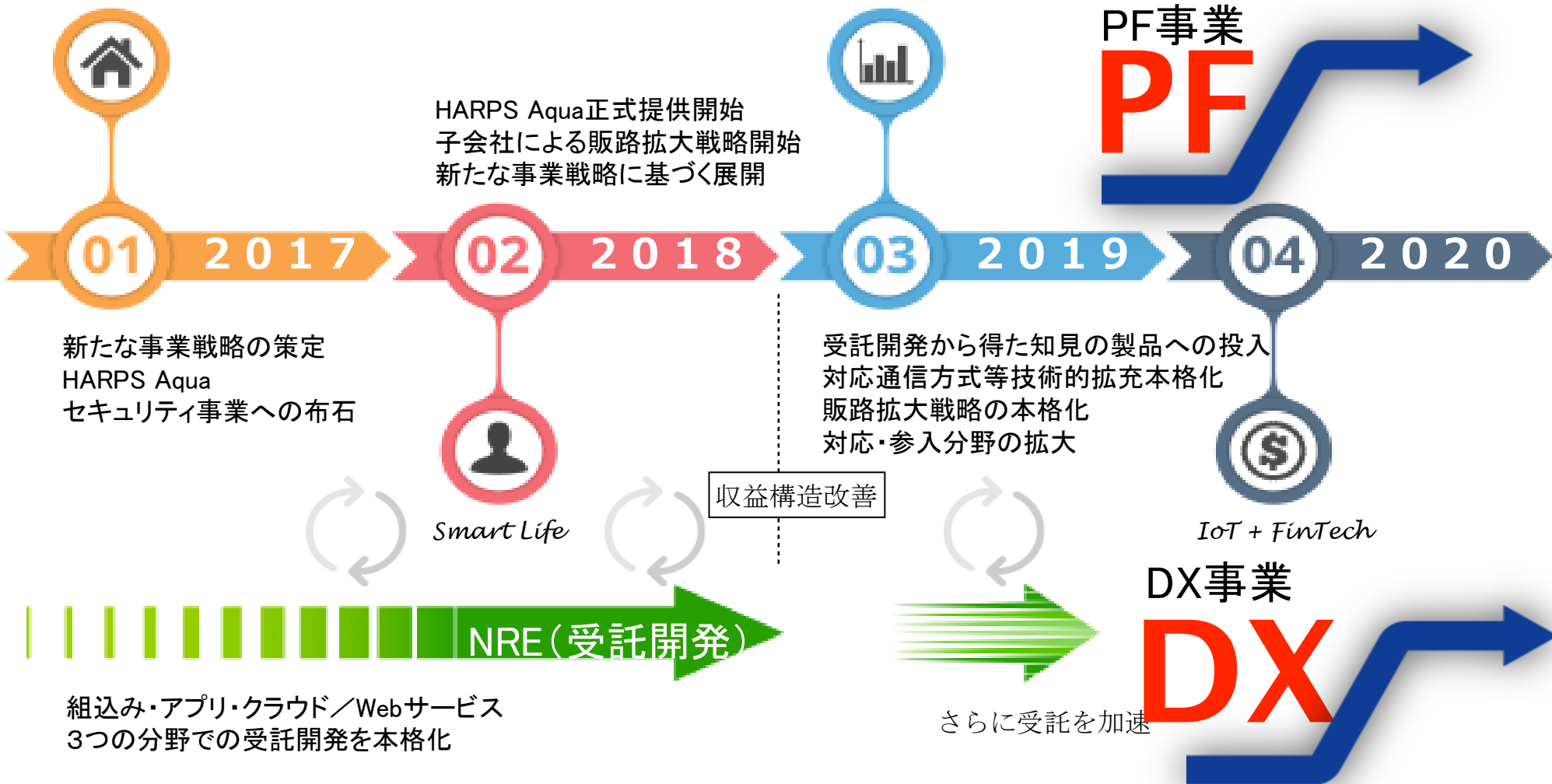
OEMによる自社ブランドO2Oプラットフォームの開発・販売
通信モジュール及びMVNOとのクロスセル
クラウドIoTプラットフォームの構築と運用
受託開発
他社開発支援
外部サービス連携

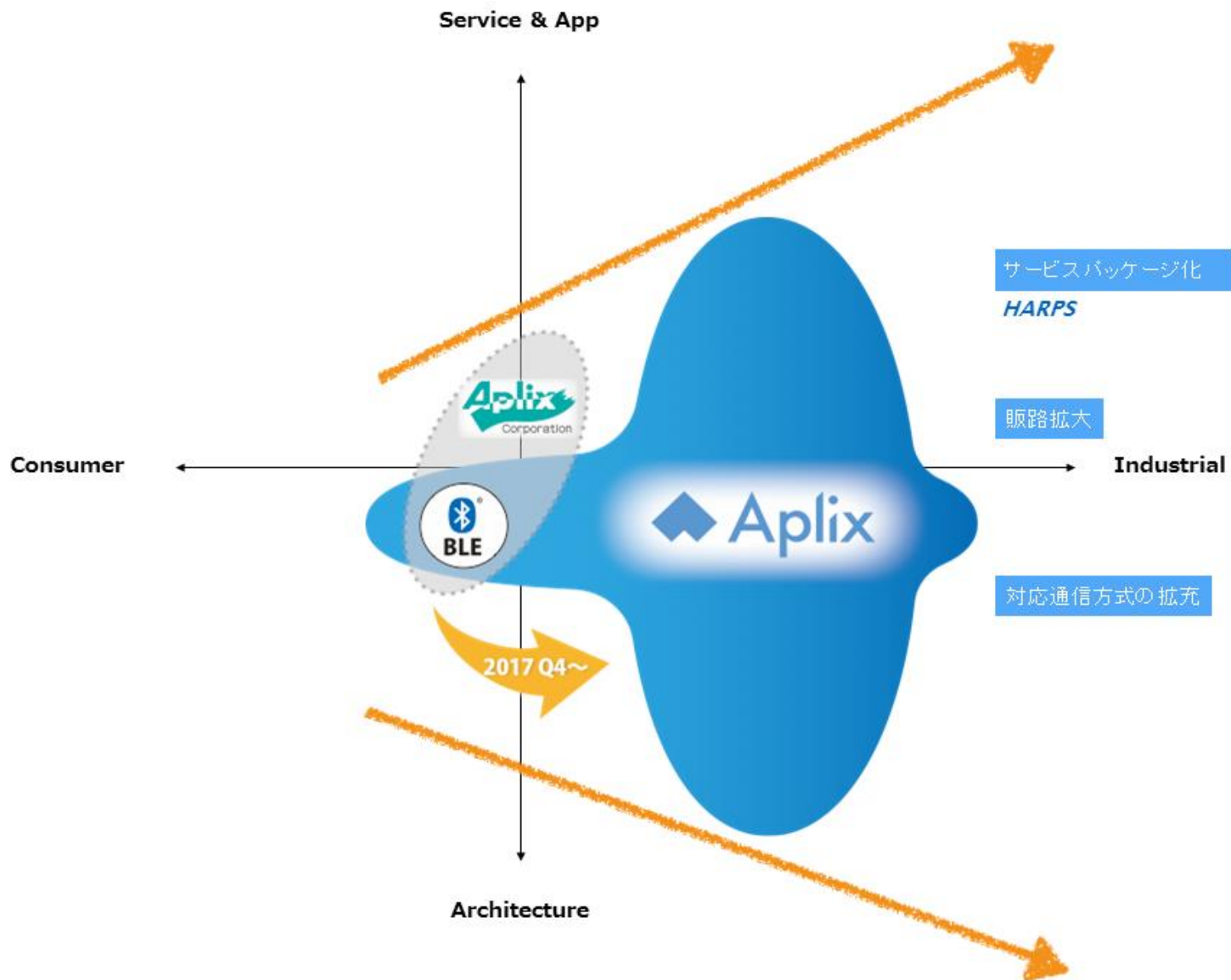
IoTプラットフォームに必要な要素技術を押さえるのみならず、商流プラットフォームとしても展開



Smart Home

IIoT (Industrial IoT)





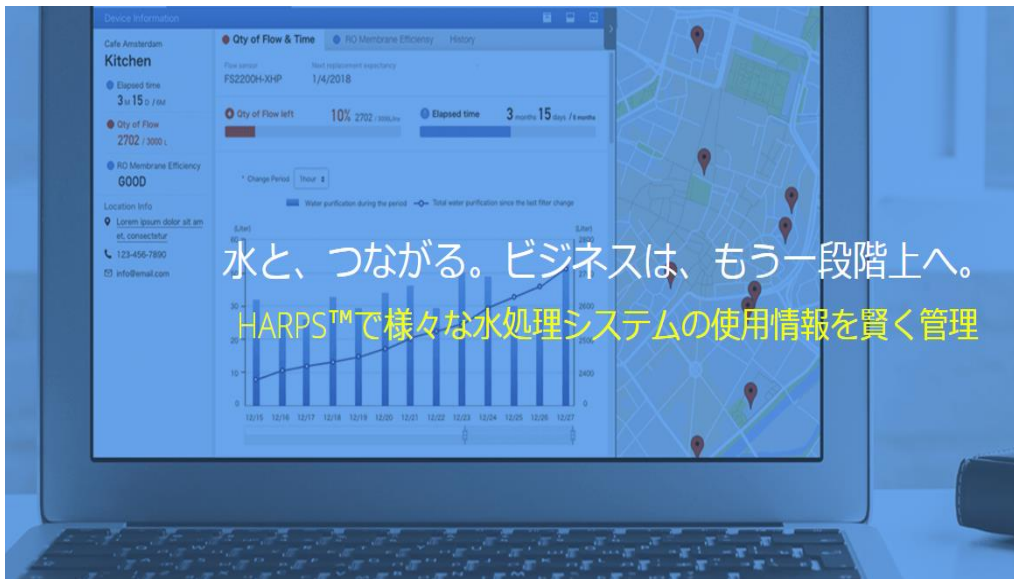
当社の現状の課題：当社ではトータルIoTソリューションを提案しているものの、ハードウェアはBluetooth Low Energyが中心、Bluetooth Low Energyが顧客にとってベストとは限らないケースあり

対応通信方式の拡充：Bluetooth Low Energyのみに依存するのではなく、顧客のニーズにあわせて複数の通信デバイスへの対応、SIM、LPWA等への対応、自社でハードウェア製造はするのではなく、パートナーとの連携による提供を目指す

HARPS™ (ハープス)



「HARPS (ハープス) 」とは、水処理システムをIoT化するオールインワンパッケージです。流量センサーを接続して、浄水器のフィルターの使用状況や交換時期をモニタリングします。その他にも、簡易TDSセンサー（水に溶けている電解物質の除去率を測定するセンサー）など、各種センサーに対応したサービスを欧米を中心に順次展開しています



ハードウェア

サービス

オプション：カスタマイズ



センサーゲートウェイ
"IoTIZR™"



Webアプリ
モバイルアプリ

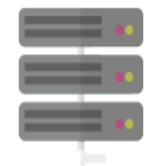
センサー追加



画面デザイン変更



接続先サーバー



「groma」とは、アプリックスの屋内測位／位置情報システム市場向けソリューションです。
「Quanti」は、「groma AprilTag ソリューション」の1つで、書類や在庫にiPhoneのカメラをかざすだけで、それらに貼られている複数のARマーカを同時にスキャンし、その中から見つけたものを素早く探し出すサービスです。

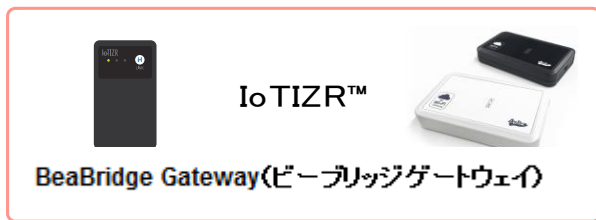
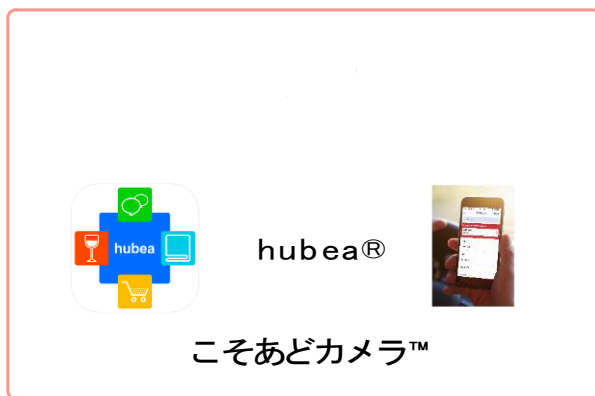
※「AprilTag」はAR、ロボット工学、カメラキャリブレーションなど広い用途で便利な座標基準マーカです。
「AprilTag」については、<https://april.eecs.umich.edu/software/apriltag.html> を参照。



The logo for Quanti, featuring a large blue stylized letter 'Q' above the word 'Quanti' in a blue sans-serif font, with a small 'TM' trademark symbol at the end.



■ 現状



IoT World Forum Reference Model

Levels

- 7 Collaboration & Processes
(Involving People & Business Processes)
- 6 Application
(Reporting, Analytics, Control)
- 5 Data Abstraction
(Aggregation & Access)
- 4 Data Accumulation
(Storage)
- 3 Edge Computing
(Data Element Analysis & Transformation)
- 2 Connectivity
(Communication & Processing Units)
- 1 Physical Devices & Controllers
(The "Things" in IoT)



■ 今後の戦略

IoT World Forum Reference Model



■ 研究開発活動



人工知能学会、日本ロボット学会、日本音響学会、情報処理学会・・・

目次

- 01 アプリックスのこれまでの歩みと強み
- 02 今後の成長戦略
- 03 **主要トピックス**
- 04 おわりに

アプリケーションとシマフジ電機がルネサス エレクトロニクス製マイクロプロセッサRZ /T1向けI /O端子機能仮想化技術「fvIO™」を 共同でプロモーションしていくことで合意

組込み向けハードウェア及びソフトウェアの開発を手掛けているシマフジ電機株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：藤代巖、以下「シマフジ」）と、シマフジが開発した「fvIO™」技術を共同でプロモーションしていくこと、並びに同社の「fvIOプラグイン™」の販売なども協力して進めることについて、2018年11月に合意しました。

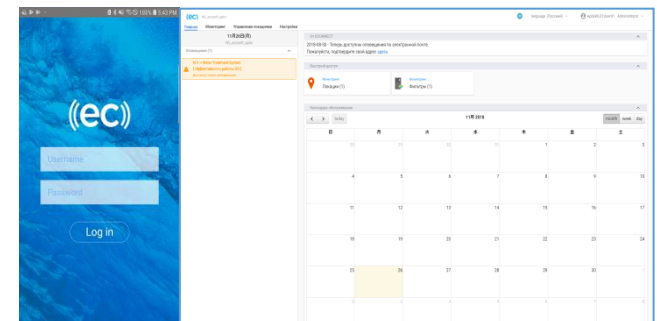
アプリケーションは、fvIOホストであるルネサスの「RZ/T1（RZ/Tシリーズ）」をはじめ、ルネサスの「e-AI」を高速実行するオフロードエンジンとして最適なDRP（Dynamically Reconfigurable Processor、ルネサスが開発した、1クロックごとに演算回路を動的に変更できるプロセッサ技術）を搭載するマイクロプロセッサ「RZ/A2M」、並びにこれらに対応するシマフジの「fvIOプラグイン」をベースとする組込み機器開発、開発支援、受託開発及びソリューションの構築などを行います。また、併せてシマフジの「fvIOプラグイン」に係る販売代理業務も開始する見込みです。

ウクライナ最大の浄水器メーカーEcosoftが アプリックスの「HARPS™（ハープス）」を採用

アプリックスが提供する水処理システム「HARPS™」が浄水器メーカーであるEcosoftに採用され、ウクライナ全土に展開するガソリンスタンドOKKOに設置されたEcosoftのウォータースタンドのモニタリングを開始いたしました。

Ecosoftでは以前よりOKKOのガソリンスタンドに対してウォータースタンドを設置していましたが、水のペットボトルを保存するために多くのスペースの確保が必要となったり、次の配達を待たずに水が使い終わったりするなど、不便な状況が続き、また、スタッフがコーヒーマーカーの水位を確認し忘れてしまい、コーヒーマーカーが故障するなどの状況を改善するため、「HARPS」を搭載した逆浸透膜（RO膜）フィルター付き浄水器をOKKOのガソリンスタンドに440個以上設置しました。

その結果、ダッシュボードでモニタリングしている水量や汚染具合といったデータを利用し、OKKOに対してタイムリーな情報と継続的に美味しい水を提供することができるようになったことから、OKKOのサービス向上に寄与し、また、「ECONNECT Dashboard」で管理するデータに基づいて請求する仕組みを構築することで、Ecosoftの業務効率化も実現しました。



「HARPS™ (ハーパス)」を日本で提供開始し、 海外のみならず国内においても積極的なサービス展開をスタート

アプリックスではこれまで、水処理システムに流量センサー、簡易TDSセンサー（水に溶けている電解物質の除去率を測定するセンサー）等を接続して、浄水器のフィルターの使用状況や交換時期、水の汚れ具合等をモニタリングするプラットフォームサービス「HARPS」を2018年4月の発売以降、主に浄水器等の「水」に関するIoT化に対するニーズが多い欧米を中心に営業活動行っていましたが、国内においても本格的に提供を開始することといたしました。

なお、アプリックスでは、「HARPS (ハーパス)」を自社ブランドとしてご利用いただくOEM形式のサービスも提供しています。また様々なセンサー等を接続するためのカスタム対応を行っております。

お気軽にご相談ください。



WEBアプリ、モバイルアプリ



センサーゲートウェイ
「IoTIZR™」

アプリックスの子会社BEAMO（ビーモ）が PC自動ログイン/ログオフシステム「iLUTon（イルトン）」の取扱いを開始

アプリックスの子会社である株式会社BEAMO（ビーモ）が、株式会社イージーディフェンスと販売代理店契約を締結し、イージー社が開発・販売するPCの自動ログイン/ログオフシステム「iLUTon（イルトン）」の取扱いを2018年12月から開始いたしました。

「iLUTon」は、受信機をPCに接続してカードを携帯しておくだけで、席を離れる時に自動でログオフし、席に戻ってくる時にパスワードの入力をすることなく自動でログインできるという特徴を持つPC自動ログイン/ログオフシステムです。

ビーモでは、法人向け携帯電話やSIMの販売、契約管理業務の効率化を促進する電子契約サービス、スマート打刻サービス「DAKOQ™」等の販売を行っておりますが、「iLUTon」を取扱うことにより、個人情報など機密情報の漏えい対策を促進する新たなソリューションとして提案することが可能となると考えております。



※ 「iLUTon（イルトン）」の製品紹介動画：<http://iluton.net/video/use.mp4>

020プラットフォーム開発運用の株式会社トランスメディアGPと次世代020プラットフォームおよびサービスの共同開発について合意

020プラットフォームの企画・設計・開発・運用を行う株式会社トランスメディアGP（以下「トランスメディア」）と次世代020プラットフォームおよび020 MAプラットフォーム並びに同サービスを共同で開発することについて合意しました。

アプリックスでは、スマートフォンにおけるアプリ・プラットフォームの開発、およびUX（User Experience：顧客体験）を主軸とした戦略、並びに様々なデバイスやクラウド側のサービスなどを相互に接続してMAを実現していく バックエンドのプラットフォームが必要であると考えており、今回、店舗向けアプリ制作サービス「店舗アプリ」で店舗アプリの利用者数国内No.1を誇るトランスメディアと共同開発を行うことにより、次世代の020プラットフォーム及び020 MAプラットフォームを提供することが可能になると考えています。

<「店舗アプリ」の機能>



<「店舗アプリ」実用例>



「デザインソリューションラボラトリー」の株式会社ホロンクリエイトとUXデザインによるIoTソリューション開発に関する共同研究について合意

プロダクトデザインやWeb・サービスなどのさまざまなデザイン分野において「体験設計」(Experience Design) をベースに質の高い経験価値の向上に寄与してきたデザインソリューションの専門企業である株式会社ホロンクリエイト(以下「ホロンクリエイト」と、DX(デジタルトランスフォーメーション)時代の到来に際し、UXデザイン(User Experience: 顧客体験)によるIoTソリューション開発に関する共同研究を行うことについて合意しました。

今回の共同開発合意を通じて、今後DXやIoTなどが本格的に普及する時代をむかえるにあたり、単なるGUI(グラフィカルユーザインタフェース)のデザインといった観点からではなく、より本質的な方向性である「デザイン思考」的なアプローチを取り入れつつ研究を進めるとともに、具体的なスマートフォン向けアプリケーションなどへの応用も適宜開始する予定です。



ネスレ日本「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i[アイ]」に続いて、 「ネスカフェ ドルチェ グスト」IoTモデルのシステム開発・運用を支援

アプリックスは、ネスレ日本株式会社のカプセル式本格カフェシステムで世界累計販売台数5,000万台（2018年12月末時点）を突破した「ネスカフェ ドルチェ グスト」シリーズより2019年4月1日に新発売されたIoTモデル2機種¹のシステム開発をサポートしました。

IoTに対応した新製品「Esperta（エスペルタ）」と「GENIO I（ジェニオ アイ）」では、「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i[アイ]」に続き、同社スマートフォンにダウンロードした「ネスカフェアプリ」と連動することで、カフェメニューの温度を調整したり、お気に入りのレシピを保存することができます。また貯めたポイントの交換などもできます。

「Esperta(エスペルタ)」



「Esperta(エスペルタ)」



アクアクララ株式会社の会員専用WEBサービス「マイアクア」のリニューアル開発を支援

アプリックスは、宅配水業界のリードカンパニーであるアクアクララ株式会社のECを中心とした会員専用WEBサービス「マイアクア」のリニューアルにあたり、システム開発の支援を行いました。

今回のリニューアルにより、「LINE Messaging API」を利用した注文システムを採用したほか、定期便配送機能が追加され、次回の配達日の確認や変更が可能になりました。なお、デジタルボトルクーポンの機能も追加されています。さらに、スマートフォン上において利用者がウォーターボトルの発注や商品検索、過去の注文情報などをより簡単に確認できるようにするため、スマートフォン向けにユーザーインターフェイスが最適化されました。

また、AWSのクラウド上にシステムを構築し基幹システムとの連携を実現しました。

<LINEの注文画面>



<スマホ上の画面>

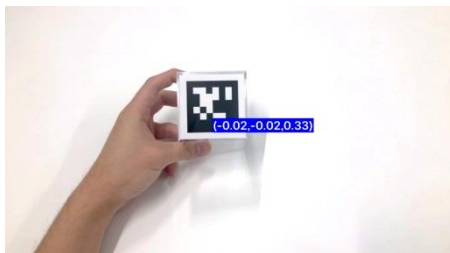


位置/姿勢情報取得システム「groma™ AprilTagソリューション」の技術拡張を実現

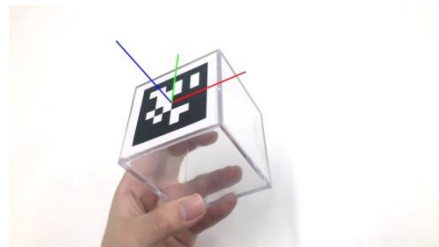
アプリックスの位置/姿勢情報取得システム「groma™ AprilTagソリューション」について、従来の「ID識別」技術に追加して、2019年4月に新たに「距離探知」、「姿勢（向き）探知」、「角度測定」、そして「検知ID数の拡張」などの技術拡張を実現しました。なお、AR在庫管理スキャナー「Quanti™（クアンティ）」についても機能を追加しました。

アプリックスが得意とするモバイル・クラウド技術に取り込んだソリューションである「groma AprilTagソリューション」について今回、①ARマーカ―が貼られた目的物への距離をより正確に取得できる「距離検知」、②姿勢（向き）を検知できる「姿勢（向き）検知」、③三次元空間内に配置された3点のARマーカ―を結ぶ線の二辺の「なす角」を測定できる「角度測定」、そして④複数のARマーカ―を組み合わせることで、理論的には無制限のID数に対応可能（例えば2×2に並べたARマーカ―の場合には12桁）な「検知ID数の拡張」、これら4点の技術を新たに開発しました。

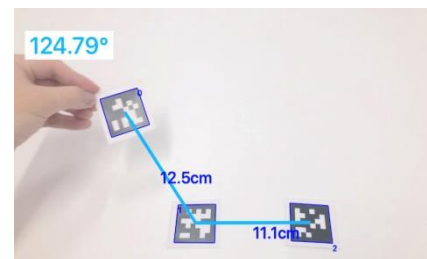
①距離検知機能



②姿勢（向き）検知機能



③角度測定

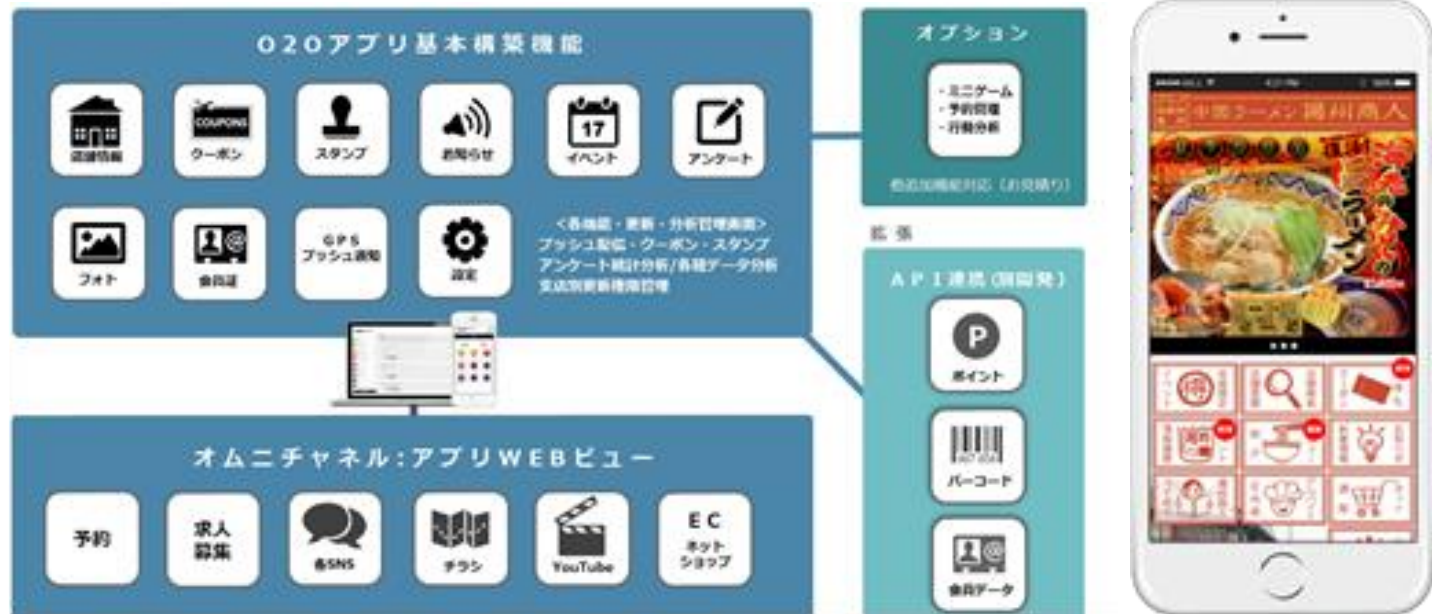


④検知ID数拡張機能



O2Oプラットフォーム開発運営を行う株式会社トランスメディアGPの 店舗向けアプリ制作サービス「店舗アプリ」の販売を6月1日より開始

「店舗アプリ」は、店舗情報やクーポン、スタンプ、イベント告知、アンケートの実施、プッシュ通知などの多彩な機能を基本機能とするトランスメディアが提供するアプリ制作サービスです。アプリックスでは、販売パートナー企業や広告代理店などとも今後協業を進め販売チャネルを広げていく予定です。



<料金>

①初期費用：見積 ※目安：10万円～20万円<アイコンやアプリトップヘッダなどのデザイン制作代行含む>

②月額費用（運用代行含む） ※標準価格

1店舗	20,000円/月	
5店舗まで	15,000円/月	× 店舗数
10店舗まで	12,000円/月	× 店舗数

目次

- 01 アプリックスのこれまでの歩みと強み
- 02 今後の成長戦略
- 03 主要トピックス
- 04 おわりに

おわりに

アプリックスは「つながります」

証券コードは

3 7 2 7

みんな

つながろう

ご静聴ありがとうございました。

株主・投資家の皆様におかれましては、

何卒、当社の今後のチャレンジにご期待ください。

CONNECTING THE UNCONNECTED



株式会社アプリックス
<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。